

松山小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成」を学校理念としており、子どもたちに社会性の基礎となる力と問題解決的な学習を基盤とした確かな学力を育成することを重点目標に、教育活動に取り組んでいる。
- ・特に総合的な学習と生活科では、ESDを一番身近な「自分たちが住む町の文化や人とのつながりを見つめる場」と捉え、ESDの実践を通して地域を愛する心と自分にできることを実践していく力の育成を目標とした。
- ・総合的な学習を柱に、各教科・領域と関連付けながら①地域の伝統や文化に係わる学習、②防災に係わる学習、③福祉に係わる学習、④地域に係わる学習を行っている。

・活動の実際

① 地域の伝統や文化にかかわる学習

3年生の総合的な学習では、「わっしょい松山」をテーマに取り組んだ。祇園祭の学習では、奉賛会の方から、手筒花火にかける思いや願いを聞いた。祭りに関わる人々の伝統を守ろうという思いにふれ、自分たちの積極的なかわりが、伝統を守ることに繋がると気づいた。また、より多くの人に知ってもらおうことが盛り上がりにつながると考え、祭りの魅力を伝える方法を考えることができた。



『わっしょい松山』ゲストティーチャーから手筒花火のことを学ぶ子どもたち

② 防災にかかわる学習

5年生の総合的な学習では、「セーフティ松山」をテーマに取り組んだ。ゲストティーチャーから柳生川の水害について話を聞き、その恐ろしさや日ごろから備えをしておくことの大切さを知ることができた。6月には、実際に水害を体験したことで、さらに自分事としてとらえるようになった子どもたちは、身のまわりの防災状況を調べ、地域の人に知らせるポスターを意欲的に作成した。



『セーフティ松山』地域の人たちのためにポスターをつくる子どもたち

③ 福祉にかかわる学習

4年生の総合的な学習では、「みんなで発見！やさしい松山」をテーマに取り組んだ。校区探検でスロープや点字ブロックの状況を調査し、福祉に興味をもった子どもたちは、さらに耳の不自由な方の話を聞いたり、車椅子体験をしたりする中で学びを深めていった。そして、自分たちにできる福祉活動を考え、実践していこうという思いを高めた。



『みんなで発見！やさしい松山』車椅子体験をする子どもたち「段差があると大変！」

④ 地域にかかわる学習

2年生の生活科の学習では、「だいすき松山」をテーマに取り組んだ。「大豊商店街」を繰り返し探検し、店の人や客とかわることで、地域の人々の思いや温かさを感じ、その魅力に気づいた。大豊商店街に昔のような賑わいが戻ってきてほしいと考えた子どもたちは、そのよさを身近な人に広めたいという思いをもち、ポスターやコマーシャルを作成した。子どもたちは、自分のまちが大好きという思いを高めた。



『松山だいすき』大豊商店街のお店の人にインタビューする子どもたち